

入場無料



那須町 一ツ樺獅子舞保存会



伝統  
文化に  
ふれる

大田原市 城嶽舞保存会

# 郷土 芸能フェスティバル

第27回 那須地区



那須塩原市 三島おはやし会

三島こどもおはやし会



流響塩原太鼓

那須塩原市



大田原市 親園草刈唄保存会



黒羽太鼓保存会、黒羽高校太鼓部

大田原市



那須町 伊王野城山保存会



那須塩原市 三島八木節

日時

2025年 11月16日(日)  
午前10時～午後2時

場所

道の駅 東山道伊王野 那須町寺伊王野459

大収穫祭と  
同時開催予定

小雨決行(荒天中止)

【問合せ】那須地区郷土芸能フェスティバル実行委員会事務局(那須町教育委員会事務局生涯学習課) TEL.0287-74-7007  
主催/那須地区文化協会・那須地区郷土芸能フェスティバル実行委員会

第27回  
那須地区

# 郷土芸能 フェスティバル

開会式 10:00 ~ 10:20

## 参加団体

- |       |        |                    |
|-------|--------|--------------------|
| 10:30 | 那 須 町  | 一ツ樅獅子舞保存会          |
| 10:50 | 那須塩原市  | 流響塩原太鼓             |
| 11:25 | 大田 原 市 | 親園草刈唄保存会           |
| 11:45 | 那須塩原市  | 三島おはやし会、三島こどもおはやし会 |
| 12:05 | 那 須 町  | 伊王野城山保存会           |
| 12:25 | 大田 原 市 | 城鍬舞保存会             |
| 12:55 | 那須塩原市  | 三島八木節              |
| 13:10 | 大田 原 市 | 黒羽太鼓保存会、黒羽高校太鼓部    |

閉会式 13:50



## 第27回 那須地区

# 郷土芸能

## フェスティバル

### 出演団体プロフィール一覧

① 団体紹介 ② 演目紹介

#### 大田原市

#### 親園草刈唄保存会



① 平成22年大田原市教育委員会から草刈唄の復活に尽力願いたいとの話。早速、当時関わった方等に当たるが、情報を得られず難儀した。

そんな中、民謡愛好者の唄・踊りのテープなどが見つかる。それをもとに地元の仲間9名(村上ヤエ・高林岩子・植木智恵子・植木サヨ子・森君江・増渕芳子・大鐘カズ・国井美枝子・植木重治)で準備・練習をし、平成26年10月大田原市総合文化会館で披露。

平成27年4月永続的な活動と後継者育成などの目的で親園草刈唄(踊り)保存会を結成する。

② 親園草刈踊り

かつて草は、農家にとって、切っても切れない深い結びつきがあった。それは馬など家畜のエサ(飼料)として、また、肥料として欠かすことのできない物でした。

そこでこの親園草刈唄は何時頃から唄い始められたかはハッキリしませんが、先人の言い伝えによると江戸中期元禄年間ごろではないかと言われております。

那須野が原最南端にあたる大田原市親園五本木から野崎地区の薄葉あたりに広がる草原がありました。まだ夜の明けない早朝、何軒かの農家の方々が連れだって馬に乗り、又馬の手綱を引きながら鎌を持ち、籠を背負い、草刈り場に向かう途中、誰からともなく唄っていたそうです。戦後は農業の機械化、化学肥料の普及により、草刈りの作業はなくなりましたが、親園北区の有志により唄い継がれてきました。(昭和36年大田原市無形民俗文化財に指定されました。)

#### 大田原市

#### 城鉾舞保存会



① 大田原市上石上地区内に在住する児童(石上小学校 1年生～6年生 女子)12名と同地区の有志8名による演技。

② 城鉾舞

今から約480年前、大田原城築城に携わった農民をねぎらう酒宴で、地元の農民、藤兵衛が酔いに乗じてくわを持って踊り出たのが起源とされる。笛や太鼓に合わせ藤兵衛役の「うちわとり」がひょうきんに舞い、化粧した早乙女姿の児童たちも鉄の棒でくわを鳴らして盛り上げる。



#### 大田原市

#### 黒羽太鼓保存会 黒羽高校太鼓部



① 黒羽太鼓は、昭和55年(1980年)栃の葉国体が開催された年に旧黒羽町が相撲競技会場となり、相撲と関わりの深い太鼓音楽により大会を運営しようと、故藤田正典先生に依頼し創作太鼓を作曲していただきました。今年45周年を迎え5月18日ピアートホール会場で記念演奏会を盛大に行われました。これからも聞いて、見て、楽しむ演奏会を目指して、又地域活性化の一助となるべき様に精進して参ります。

② 清流鶴黒太鼓・余一射掛太鼓・大頭龍権現太鼓

・清流鶴黒太鼓…黒羽の門と、町の中央を流れる那珂川の清流に託し、行進曲として、力強い黒羽の前進を現した曲です。

・余一射掛太鼓…文治元年2月、屋島の戦いに東武士の栄誉を一身に担って扇の的を見事に射止め、敵味方歓喜する様を表現した曲です。

・大頭龍権現太鼓…三県に跨る故郷の山、八溝山に伝わる怪奇岩岳丸の伝説を基に、三楽章構成に作曲された創作太鼓です。

那須塩原市

## 三島おはやし会、三島こどもおはやし会



- 昭和63年に三島おはやし会として発足し、平成3年に三島こどもおはやし会を発足しました。三島神社例大祭やコミュニティー祭りなどイベントに出演しています。
- 新ばやし、四調目、新四調目、けんかばやし  
新ばやし…山車が出る時に演奏する勢いのある曲  
四調目…強弱が特徴のテンポある曲  
新四調目…お祭りには欠かせない勢いある曲  
けんかばやし…一定のリズムを取るの難しい曲



那須塩原市

## 三島八木節



- 三島おはやし会の中で三島八木節として、群馬、栃木2県に渡り愛される俗謡をアレンジして演奏します。
- 八木節  
栃木の名所を取り入れた歌詞や、奥さんを可笑しく表現したりユーモアのある曲です。



那須塩原市

## 流響塩原太鼓



- ふるさと創生事業の一環として創設されました。作曲は旧黒羽町出身の藤田正則先生(故人)で、旧塩原町を流れる箒川と四季折々の情景をからめて全5曲の組曲となっています。他にレパートリーは数曲あります。練習場は廃校となった旧金沢小の体育館でやっています。
- 第3楽章 飛瀑・初夏 第5楽章 豊穰・秋  
「第3楽章 飛瀑・初夏」…塩原を流れる大小様々な滝を表現しました。  
「第5楽章 豊穰・秋」…箒川も箒根の里になると田園風景の中ゆっくり滔々と流れ、紅葉も色づき収穫を祝う喜びの祭が行われます。その情景を表現しています。

那須町

## 一ツ樅獅子舞保存会



- 起源は明らかではありませんが、明和5年(1768年)に太鼓の皮を張り替えた記録があることから、少なくともそれ以前の江戸時代初期に那須町一ツ樅地内に伝わったと考えられています。  
現在は、年に3ヶ所(浅間様、鎮守様、馬頭観音様)に五穀豊穰、家内安全、火伏等を祈願し、舞を奉納しています。
- 一ツ樅獅子舞  
牡獅子2人、牝獅子1人、笛、歌で舞います。  
舞は、火ばさみ流、ささら荒神などと呼ばれ、他の獅子舞と比較して動きが活発で荒々しいのが特徴です。

那須町

## 伊王野城山保存会



- この会は、住民の自主的な組織活動により伊王野地域活性化のため伊王野城山(霞ヶ城址)を中心とした環境整備に努める歴史資源の保存管理を積極的に推進している。
- 千本杵餅つき(餅つき唄) 義経伝説  
義経の馬(太夫黒)が鎌倉へ向かう道中ケガをしてしまい、なかなかよくなりませんでした。里人が「伊王野の里の裏山の下に馬頭観音さまが祀ってある。霊験あらたかだから、ここにお祈りしたらどうか」と、すすめてくれました。義経はさっそく常陸坊海存に命じて太夫黒のケガがすぐに治るようお祈りすることにしました。義経の命を受け、伊王野の馬頭観音の前に壇をもうけ、七日七夜の祈願をしました。里人の言うとおり太夫黒は元気になりました。義経はみんなに心からのお礼を言いお金を与えて、この馬頭観音のお堂を建て、里人たちは少ないお米を出し合って餅をつき、一行と共に祝いを行いました。この時の餅つき唄が今もこの地方で歌われている「餅つき唄」だと言われています。